

精密工学会主催 第292回講習会

「設計支援システムによるノウハウの活用

～商品価値を高める情報技術と管理ツール～

開催期日：平成 15 年 7 月 4 日(金)

申込締切：平成 15 年 6 月 27 日(金)

主催：精密工学会

企画：事業部企画第 1 グループ

協賛：大田区産業振興協会/品川区産業振興課/SME東京支部/機械技術協会/機械振興協会/軽金属学会/計測自動制御学会/自動車技術会/情報処理学会/電気通信協会/電子情報通信学会/東京都金属プレス工業会/日本金型工業会(東部支部)/日本機械学会/日本工学会/日本工作機械工業会/日本自動車工業会/日本設計工学会/日本塑性加工学会/日本ダイカスト協会/日本鋳造工学会/日本溶接協会/発明協会東京支部

近年のグローバルで激しい競争環境下において、企業活動を発展的に継続させる為に新製品開発への期待はますます大きくなっています。これは、開発を効率化するCAD/CAM/CAEの活用だけでなく、何を開発すべきかの指針を与えてくれるノウハウの活用ツールが重要性を増していることを意味します。本講習では、構想設計段階での発想法から詳細設計段階での問題解決法までを通して、実用化の進んでいる設計支援システムの例を紹介いたします。製品としての機能だけでなく、製造段階、使用段階での資源の節約や規制への適合など広範囲の制約の中での開発を支え、知的財産権への配慮も含めてサポートするさまざまなITツールをデモを交え紹介していきます。それぞれの手法、ツールの必要性、活用法が理解できますので、今後の開発力強化への取り組みのご検討にお役立てください。

日時：平成15年7月4日(金)、10時00分～17時00分

会場：中央大学理工学部後楽園キャンパス 新棟(3号館)10階大会議室

(〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27)

* 後楽園駅(営団地下鉄丸の内線, 南北線)下車徒歩約 5 分 * 春日駅(都営地下鉄大江戸線, 三田線)下車徒歩約 7 分

* 水道橋駅(JR 総武線)下車徒歩約 10 分

☆ 会場 URL: http://www.tamacc.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/access_korakuen.html

司会：黒田和之(いすゞ自動車株式会社), 宮崎将哉(株式会社ニコン)

次第

時間	題目	内容	講師
10:00 ~ 11:00	問題解決に役立つ発想法としての TRIZ	TRIZ は、製品開発の際、生じる課題に関し技術者が直面している壁を、知識 DB をヒントにして考え方の転換を図り、アイデアを発想して打破する手法です。本日は IWB ソフト(米国 Ideation 社)のデモを交えてご紹介します。	伊藤忠テクノサイエンス(株) エンジニアリング・ソリューション営業部 菊井 俊二
11:00 ~ 12:00	通常文による発明内容検索システム	従来の特許検索システムは、利用者に対し特許知識(制度、用語、分類等)を要求していました。ここでは、NRI サイバーパテントデスクが実現した、特許を「文章」で検索できるサービスについて操作方法や仕組み、有効な利用法を紹介します。	NRI サイバーパテント(株) 企画営業部マネージャー 星乃 隆治
12:00~13:00	昼食		
13:00 ~ 13:45	特許電子図書館の活用方法	特許電子図書館の特徴、得られる情報、有効な使いこなし方について概説し、次いで、ゴルフクラブを例にとり、その先行技術調査を行うにあたり、技術用語を指定して行う方法と分類を指定して行う方法の二つの検索例を紹介します。	東京都知的所有権センター 特許電子図書館 情報検索指導アドバイザー 福澤 勝義
13:45 ~ 14:45	生産性設計支援ツール『DFA』の活用	DFA (Design For Assembly) は米国で開発された、生産性設計支援ツールで、組み立てやすさという観点から、構成部品点数が少なくハンドリングや挿入性に優れた製品設計をサポートします。本日は、DFA の活用方法を事例やデモを交えてご紹介します。	いすゞ自動車(株) 原価企画部 VE・TD グループ シニア・スタッフ 足立 守
14:45~15:00	休憩		
15:00 ~ 16:00	自動抽出型ナレッジマネジメント	「知識」の活用技術であるナレッジマネジメント(知識処理)の実用性は、利用効果/収集コストでできます。本講演では、複数事例の比較分析によって知識収集を支援する手法と、その手法を用いたシステムの事例を紹介します。	(株) 日立製作所 日立研究所 情報制御第六研究部 企業情報システムグループ 石田 智利
16:00 ~ 17:00	開発設計支援ナレッジベースエンジニアリングシステムの開発	モノづくりプロセスのナレッジ(知識、ノウハウ、技術)を集めて体系化し、それを設計者が活用できるようにしたナレッジベースエンジニアリングシステムについて、本システムの特長である「作業プロセスナビゲータ」「ツール活用ナビゲータ」を中心に、開発事例を含めて紹介します。	(株) 日立製作所 機械研究所 主任研究員 時末 裕充

定員：60 名(先着順で定員になり次第締切ります)

参加費：会員(賛助会員および協賛団体会員を含む)20,000 円、非会員 30,000 円【会員・非会員ともテキスト代含む】

学生会員 無料(ただし、資料ご購入の場合は、4,000 円をご負担ください)

学生非会員 6,000 円(テキスト代含む)

*参加費・テキスト代とも消費税を含みます。

資料：資料のみ、または聴講者で 2 冊以上ご希望の場合、1 冊 4,000 円

申込締切：平成15年6月27日(金)

申込方法：申込書に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXにて受け付けます。

精密工学会ホームページ <http://www.jspe.or.jp/service/seminar/seminar.html> から申し込みできます。

申込先：(社)精密工学会

(〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-5-9, 九段誠和ビル 2F, 電話:03-5226-5191, Fax03-5226-5192)